



編集・発行

国立大学法人鹿児島大学男女共同参画推進センター 〒890-8580 鹿児島市郡元1-21-24

TEL 099-285-3012 E-mail : gender@kuas.kagoshima-u.ac.jp http://atsuhime.kuas.kagoshima-u.ac.jp/

平成28年度男女共同参画推進新体制発足

鹿児島大学は、前年度に2名の学長補佐を配置していた男女共同参画推進センターの体制を強化し、平成28年4月1日より、学長補佐を副学長に昇格させた新たな体制を発足させました。

これは、第3期中期目標・中期計画期間開始ならびに同年4月1日付けで施行された女性活躍推進法への対応に伴う体制整備となっています。

これまで、総務担当理事・副学長を中心とした企画・運営を主としていましたが、センター長に副学長を配置したことにより、総務担当理事との業務分担や協働が進み、また、より柔軟に様々な取り組みを実施出来ることが期待されます。

その他、昨年度から、経営協議会の委員を始めとして、外部委員の積極的活用を進めていますが、その一環として、今年度は、特命担当理事を、本学男女共同参画推進のアドバイザーとして、正式に体制内に位置付け、学内外の情報共有や助言を得る仕組みとしました。

センター執行部は新体制となりましたが、3部会体制は維持し、それぞれの部会が、従前のおり専門性をもって取り組んでいきます。また、自治体や学外機関とも積極的に連携することで、本学の教育・研究環境の充実に資する取り組みが実現できるよう尽力していきますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



橋口副学長(男女共同参画担当)(教育学系教授)就任、センター長へ

本学では、第3期中期目標・中期計画期間開始ならびに女性活躍推進法施行に伴い、体制を強化するため、今年度より男女共同参画担当副学長を配置しました。センター長(男女共同参画担当副学長)1名、部会長3名、各部局選出のセンター委員の合計23名の体制となりました。

(橋口知副学長の挨拶)

男女共同参画の推進は、多様な視点を導入して組織の活性化をはかることにつながります。平成27年9月に本学で開催いたしました第7回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウムにおいて各大学から推薦された若手研究者の方々に大学の教育研究環境をより良くするための具体的な提案を、また、学内では学長と女性研

究者との懇談会において海外留学を含めた研究力向上のために現行制度等に対する要望を出していただきました。他にも muse カフェや職場環境改善ワークショップでも様々な意見をうかがっております。平成28年度は、これまでご提案いただいたことを大学という組織に活かすようセンターとして取り組んでまいります。その多くが現行の制度や事業内容の発展ですが、個人が無意識に持つジェンダーバイアスの影響を低減する取り組みを第3期中期目標・中期計画にあげて新たに始めます。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



橋口 知 副学長

第8回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム事前打合せ会議参加

九州・沖縄地域の国公立大学11機関が連携して、女性研究者支援に対する取組を意見交換する場として設けられた本シンポジウムも第8回目を迎えることになりました。

今回は、琉球大学・沖縄科学技術大学院大学(OIST)が主催校となり、今年の11月11日に琉球大学を会場に開催されますが、沖縄で開催することで、シンポジウムを共催してきた九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワークを構成している11機関の所在県を一巡することになります。また、10月には、ネットワーク設立時から、中心機関として、さらに平成26年10月からは、事務局校として尽力いただいた宮崎大学から琉球大学へ事務局校が交替されます。こうしたことから、11月は、本ネットワークの新たな門出になると言えます。



さて、今回のシンポジウム開催に先立ち、6月3日にOISTにて、事前打合せ会議が開催されました。会議では、昨年度から継続審議されておりました「Q-weaミッション(案)」の承認と、シンポジウムのテーマが協議され、琉球大学とOISTより提案のあった内容について確認されました。今回のシンポジウムのテーマは、「国際化に伴う女性研究者の役割」です。各機関、グローバル化に力を入れて取り組んでいるところですが、留学生受け入れ体制は進んでいるものの、逆に、研究者を海外派遣する体制・し易い体制については、まだまだ整っていない現状があります。シンポジウムで、その課題解決に向けた良いディスカッションならびに解決策を得られることを期待したいと思います。

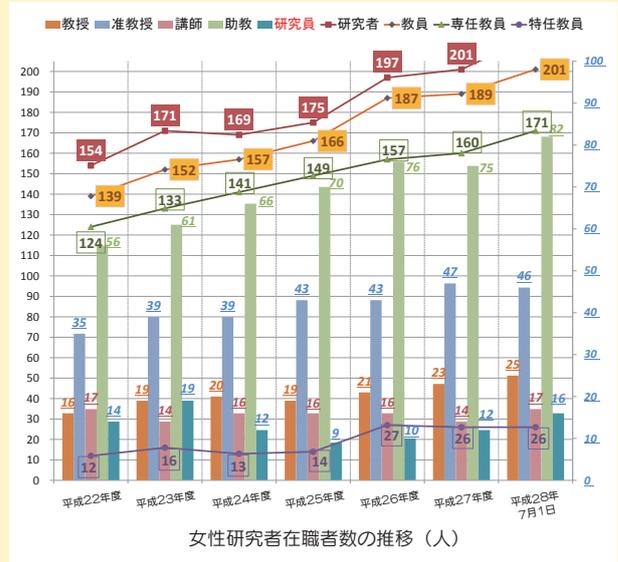


特集

～鹿児島大学における女性研究者在籍状況～

《女性研究者増に向けたポジティブ・アクションの推進》

- ・平成32(2020)年までに女性研究者在職比率20%以上及び自然科学系分野における女性研究者採用率25%をめざし、ポジティブ・アクションの積極的な導入を図る。(鹿児島大学男女共同参画行動計画)



全	218人(18.5%)+16人(+1.1%)
教	201人(17.4%)+12人(+0.7%)
体	171人(16.3%)+13人(+1.0%)
員	自然科学系分野 96人(12.8%)+7人(+0.9%)
	理工農水分野 23人(6.4%)+1人(+0.2%)

※右側の数字は、平成27年度同時期の比較

第3期中期目標・中期計画期間において、本学は、人件費抑制方針の下、教職員の大幅な新規採用を制限していきます。

しかし、大学の教育・研究の質を維持・向上させていくためにも、優秀な教員・研究者の確保は重要です。

男女共同参画推進センターでは、就業環境ならびに多様な働き方の制度をさらに充実させていくことにより、引き続き、妊娠・出産・介護等、ライフイベントが障害となるといった本人の意思によらない離職防止に努めていきたいと思っております。

医学部における男女共同参画推進

「医学部における男女共同参画推進」

医学部は女性教員比率 53.8%(平成 28 年 6 月 1 日時点)であり、全学部女性教員率 16.4%(平成 27 年度)と比較しますと、とても高い女性の女性教員の在職率を占めています。また、男女共同参画社会基本法の精神に則り、積極的に女性研究者の応募および採用を推進しており、平成 28 年より新規採用した教員 6 名のうち 4 名は女性でした(67%)。医師、看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士の医療資格保持者が多く在籍しています。そのため、学部教育のはやい段階から早期医療体験学習、学外での臨地・臨床実習、離島医療実習、問題解決型の授業及び診療参加型の臨床実習等を重視した教育を行い、医療資格枠を超え全専攻の学生と教員が「チーム医療推進」を進めています。女子学生の比率も高く、女子在学生が卒業後も仕事と私生活のライフバランスを取り継続して仕事を行えるロールモデルを身近に感じてもらえるように、学部

全体の取り組みとして「育児・介護期にある女性研究者等に対する研究支援員の確保」を積極的に図っています。また、学部学生および大学院学生のキャリアデザインの相談も随時行っています。年間行事の一環として、卒業生に仕事とキャリアデザイン・ライフバランスについて学部学生に話してもらう機会も設け、在籍中から学生のキャリア形成を支援しています。学部一丸となって学生・教員ともに活躍できる環境・支援体制をさらに整えていきたいと思っております。

(執筆: 松田 史代 助教 / 男女共同参画推進センター委員)



女性役員・女性管理職登用目標ならびに達成状況について

鹿児島大学は、「鹿児島大学男女共同参画基本理念」ならびに「鹿児島大学男女共同参画行動計画」に基づき、引き続き男女共同参画に取り組み、女性の活躍出来る環境整備と女性管理職の登用を積極的に推進するため、平成 28 年 4 月 1 日時点の女性役員、女性管理職の在職比率を設定し、右表のとおり達成しました。

	平成28年4月1日時点の目標(上段)と実績(下段)	平成26年4月1日時点
女性役員 (非常勤理事含む)	11.1%	←0.0%
	11.1%	
女性管理職	13.7%	←11.0%
	14.7%	

Information

<今後の予定>

- ◆鹿児島大学夏季休暇中児童保育(試行)「まなVIVA!!!」実施
平成28年7月25～29日、8月22～26日の10日間
都元キャンパス/8:00～18:00/定員20名(1日につき)
- ◆オープンキャンパス企画「ガールズ☆TALK 2016」開催
平成28年8月6日(土)11:00～16:00
場所/共通教育棟2号館214、215号講義室
- ◆鹿児島大学男女共同参画トップセミナー
平成28年9月8日(木)13:30～15:00/農・獣医学部…101号教室
講師/マチ・ディルワース氏(沖縄科学技術大学院大学副学長)
- ◆鹿児島大学男女共同参画キャリア形成セミナー
平成28年9月9日(金)15:00～16:30/農・共同獣医学部大会議室
- ◆鹿児島大学男女共同参画英語論文作成スキルアップセミナー
平成28年10月26日(水)13:30～16:30/鹿児島大学附属図書館5階ライブラリーホール
- ◆第8回九州・沖縄アイランド女性研究者支援シンポジウム in 沖縄
平成28年11月11日(金)13:00～17:00/琉球大学千原キャンパス
- ◆女子中高生のための鹿児島科学体験塾(11月中の毎週土曜日開催予定)
「理系女子(リケジョ)ってカッコイイ!」